

# 2019年度 第2四半期決算説明会

2019年度第2四半期決算概要及び2019年度通期見通し

2019年11月27日  
シンフォニアテクノロジー株式会社  
(証券コード6507)

# 目次

- 2019年度上期決算概要 P.3
- 中期経営計画の進捗 P.7
- 2019年度通期見通し P.18

# 2019年度上期決算概要

# 2019年度上期連結決算

(単位：億円)

	18年度 上期実績	19年度 上期実績	対前年比		(参考)5/14公表ベース	
			増減額	増減率	予想	差異
受注高	495.7	432.3	▲63.4	▲12.8%	480.0	▲47.7
売上高	416.6	390.2	▲26.4	▲6.3%	400.0	▲9.8
営業利益	18.2	2.4	▲15.8	▲86.7%	13.0	▲10.6
経常利益	18.8	2.1	▲16.7	▲88.6%	13.0	▲10.9
当期利益 (※)	13.1	1.1	▲12.0	▲91.2%	9.0	▲7.9

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

# セグメント別業績総括(受注高)

(単位：億円)

		18年度 上期実績	19年度 上期実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	受注高	209.6	159.4	▲50.2	▲24.0%
	受注残高	285.6	267.9	▲17.7	▲6.2%
パワーエレクトロ ニクス機器	受注高	185.0	165.2	▲19.8	▲10.7%
	受注残高	246.5	234.9	▲11.6	▲4.7%
サポート& エンジニアリング	受注高	101.1	107.8	6.7	6.6%
	受注残高	92.5	97.1	4.6	5.0%
計	受注高	495.7	432.3	▲63.4	▲12.8%
	受注残高	624.6	599.9	▲24.7	▲3.9%

# セグメント別業績総括(売上損益)

(単位：億円)

		18年度 上期実績	19年度 上期実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	売上高	181.6	161.4	▲20.2	▲11.1%
	営業利益	10.6	▲4.0	▲14.6	-%
パワーエレクトロニクス 機器	売上高	159.8	142.5	▲17.3	▲10.8%
	営業利益	6.4	2.6	▲3.8	▲58.8%
サポート& エンジニアリング	売上高	75.2	86.2	11.0	14.6%
	営業利益	1.4	4.4	3.0	202.1%
計	売上高	416.6	390.2	▲26.4	▲6.3%
	営業利益	18.2	2.4	▲15.8	▲86.7%

# 中期経営計画の進捗



# 中期経営計画の概要

## 基本方針

- ・先進技術を活用した技術開発力の更なる強化
- ・強固な収益性と健全な財務体質の確立

## 基本戦略

1. 中核事業の拡大
2. 海外事業拡大
3. 次世代ビジネスの創出
4. 積極的な投資による生産力増強

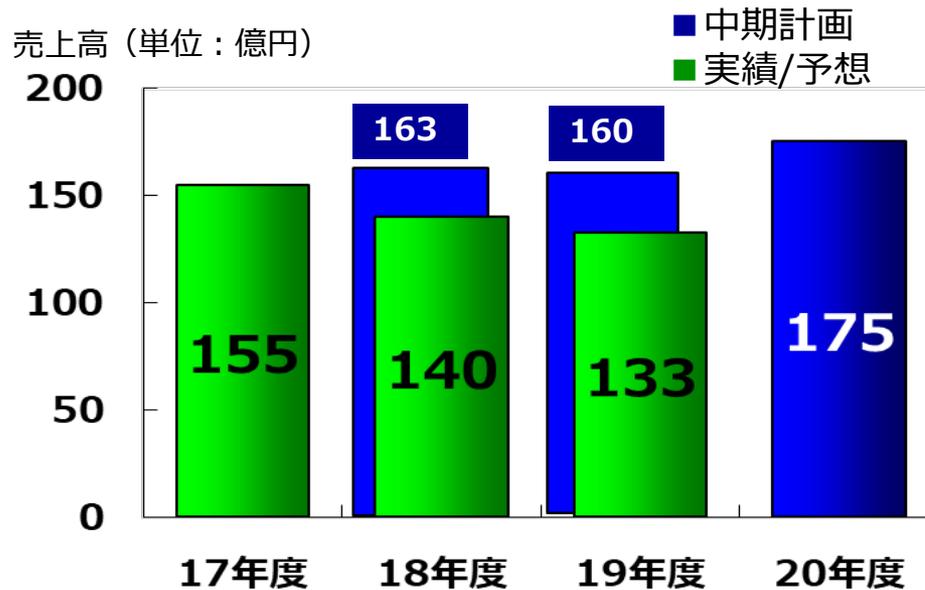
## 行動計画

1. 生産効率改善による利益創出
2. 市況持ち直しに備えての生産体制構築
3. 将来に向けた製品開発加速
4. 海外法人での開発・生産力強化

# 中核事業 ①航空宇宙事業

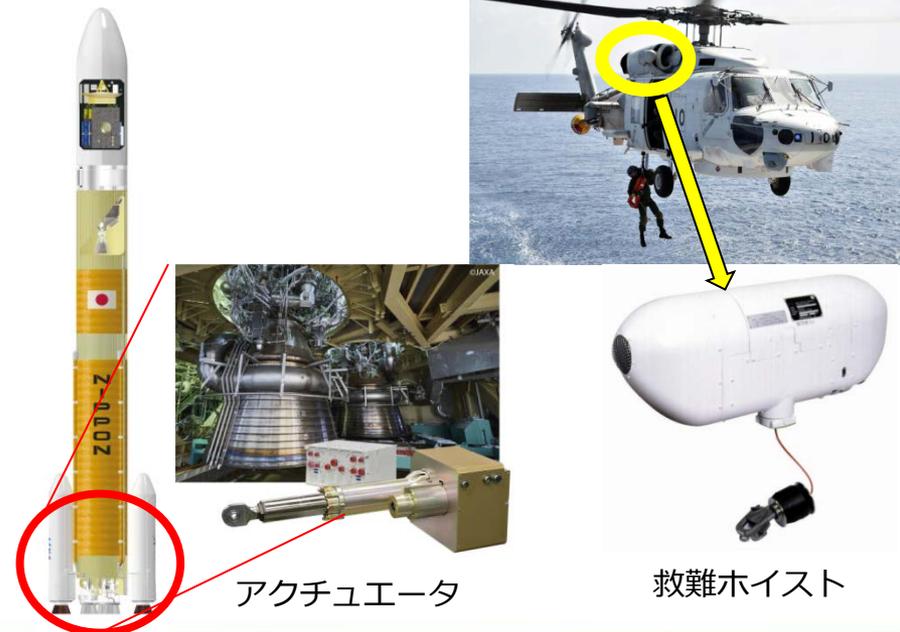
## 事業状況

- 宇宙機器産業の市場規模拡大
- 民間航空機分野の電動化加速
- 防衛予算の配分変更



## 取組

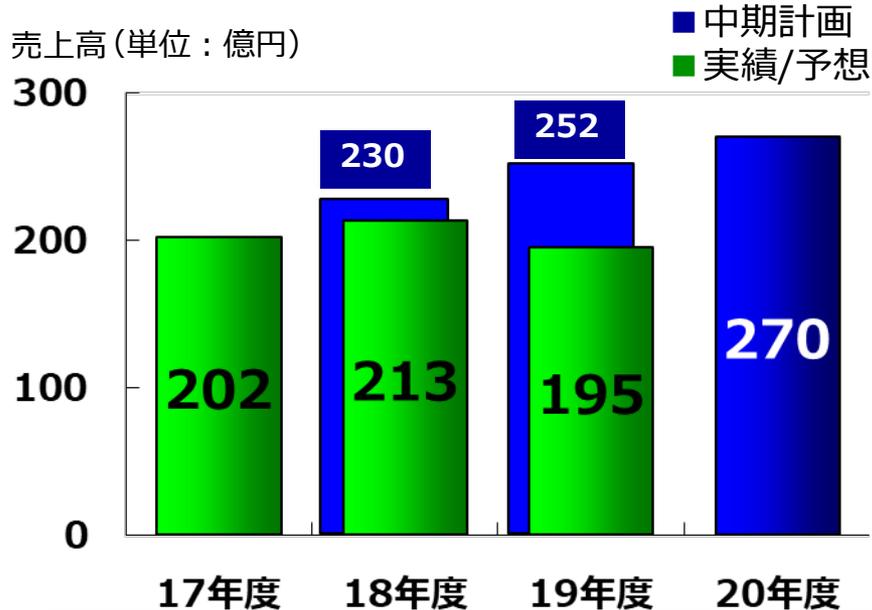
- 航空機・H3/将来イプシロンロケット関連のメニュー拡充
- 次世代民航向け電装品の開発
- 艦船・装備品のメニュー開発
- 開発・生産体制の強化



# 中核事業 ② モーションコントロール機器事業

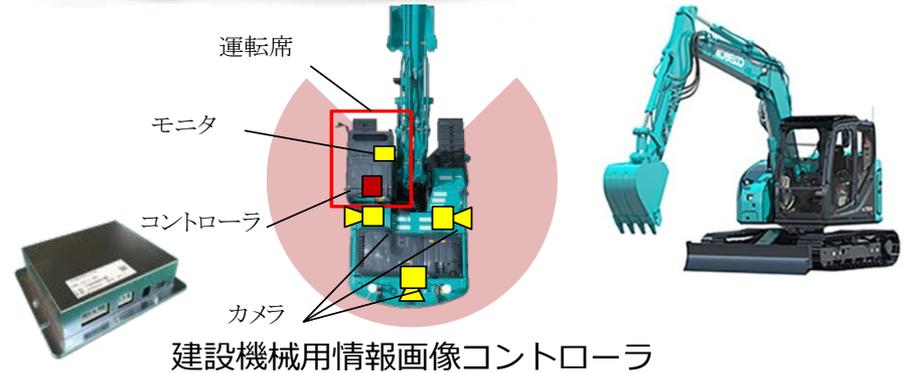
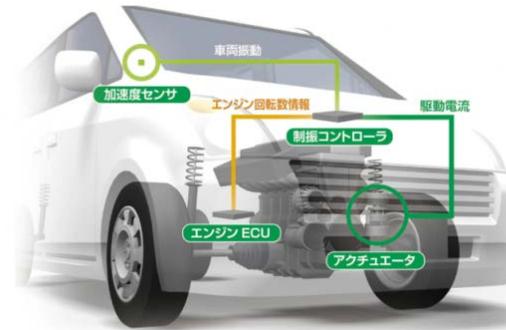
## 事業状況

- FA業界の設備投資停滞
- 小型モビリティの商業化遅れ



## 取組

- 生産体制の効率化
- 自動車搭載用電装品の開発
- 建機用情報画像コントローラの開発



# 中核事業 ③クリーン搬送機器事業

## 事業状況

- 半導体需要は拡大
- 投資は調整局面も回復は近づく
- 中国の投資計画は貿易摩擦の影響で足踏み

## 取組

- 製品の高付加価値化開発
- クリーン搬送機器工場  
拡張による生産強化
- 米国での開発・サービス業務強化

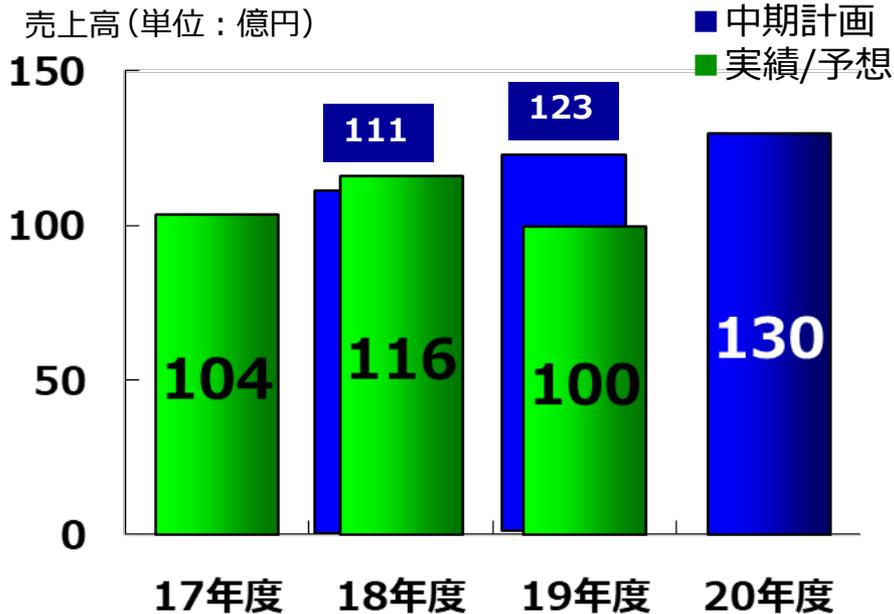
売上高 (単位: 億円)



# 中核事業 ④ 振動機器事業

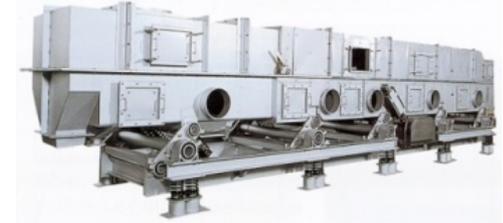
## 事業状況

- 食品・素材・製鉄分野の需要は堅調
- 電子部品業界は調整局面回復は後ろ倒し



## 取組

- 食品・素材向け振動機器の拡販
- タイ現法の開発・生産体制強化
- インドネシアのアライアンス強化



振動乾燥・冷却装置



# 中核事業 ⑤エンジニアリング事業

## 事業状況

- 国内民間電気設備等の工事は依然堅調さ持続
- 中国半導体製造工場建設は貿易摩擦の影響あるも回復に期待

売上高(単位:億円)



## 取組

- 国内営業地区拡大による民間電気設備等の工事獲得
- 中国・日本国内の搬送設備工事獲得に向けた要員増強



電気設備修繕工事



半導体工場設備工事



温浴施設 管工事

# 海外事業拡大

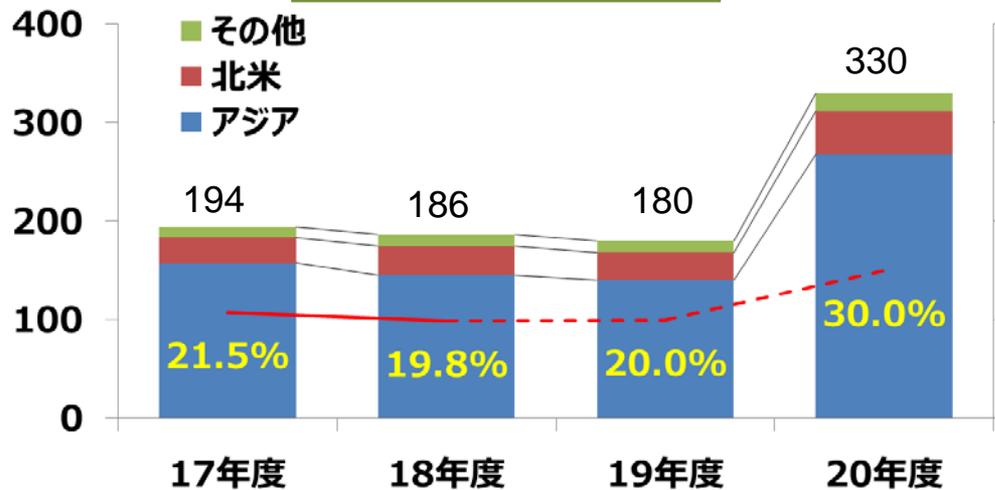
## 事業状況

- 中国市場における  
半導体・FA分野の投資減速
- 米国顧客からの  
開発・サービスニーズ大

## 取組

- 米国拠点のクリーン搬送機器を  
中心とした対応力強化
- 食品、素材分野への注力と  
海外向けの機種開発

### 海外売上高/比率



(単位：億円)

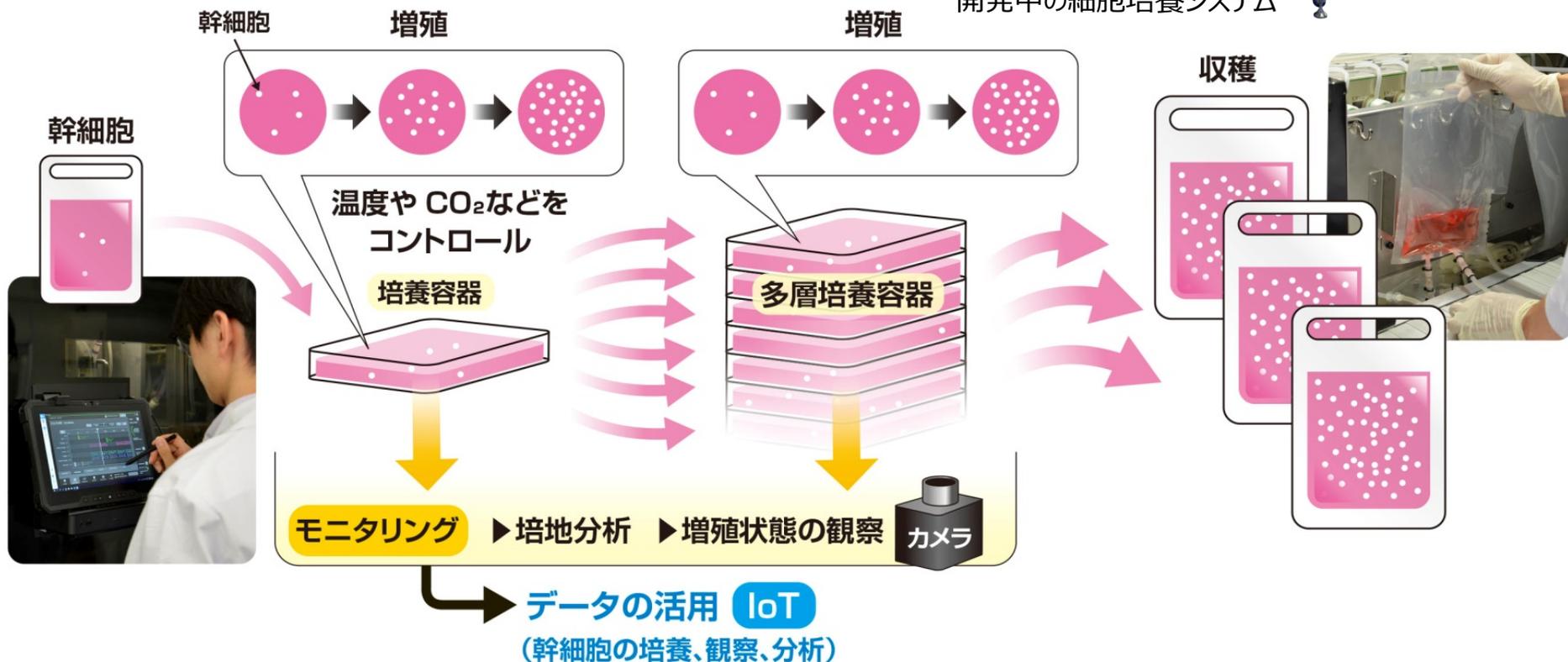


鋳物原料自動投入装置（リフマグと振動機の組合せ）  
タイ バンコクに納入

# 次世代ビジネスの創出

## ①再生医療分野

- 細胞培養プロセスに対応したシステムの開発



# 次世代ビジネスの創出

## ②航空・宇宙分野

- 航空機電動化に向けた電装品の開発
- 宇宙分野でのアクチュエータ  
・ 制御装置の開発



交流発電機



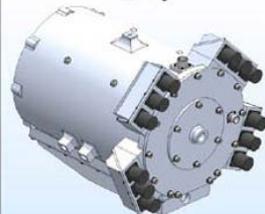
アクチュエータ



配電装置



モータ



機体制御コントローラ



推力方向制御用  
コントローラ



推力方向制御用  
アクチュエータ



推進系コントローラ

(参考) H3ロケット ©JAXA

# 次世代ビジネスの創出

## ③自動車分野

### ● 車載用電装品の開発



# 2019年度通期見通し

# 2019年度連結通期見通し

(単位：億円)

	18年度 実績	19年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	953.9	950.0	▲3.9	▲0.4%
売上高	941.6	900.0	▲41.6	▲4.4%
営業利益	62.4	36.0	▲26.4	▲42.3%
経常利益	63.0	33.0	▲30.0	▲47.6%
当期利益(※)	46.4	21.0	▲25.4	▲54.7%

(※1)親会社株主に帰属する当期純利益

# セグメント別見通し(受注)

(単位：億円)

		18年度 実績	19年度 予想	対前年比		
				増減額	増減率	
モーシヨ	機器	受注高	392.2	350.0	▲42.2	▲10.8%
パワーエレクトロ	ニクス機器	受注高	364.2	380.0	15.8	4.3%
サポート& エンジニアリング	受注高	197.4	220.0	22.6	11.4%	
計	受注高	953.9	950.0	▲3.9	▲0.4%	

# セグメント別見通し(売上損益)

(単位：億円)

		18年度 実績	19年度 予想	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	売上高	379.8	345.0	▲34.8	▲9.2%
	営業利益	13.4	▲4.0	▲17.4	—%
パワーエレクトロ ニクス機器	売上高	373.3	360.0	▲13.3	▲3.6%
	営業利益	33.8	25.0	▲8.8	▲26.1%
サポート& エンジニアリング	売上高	188.4	195.0	6.6	3.5%
	営業利益	15.4	16.0	0.6	3.6%
計	売上高	941.6	900.0	▲41.6	▲4.4%
	営業利益	62.4	36.0	▲26.4	▲42.3%

ご清聴ありがとうございました

# 将来予測について

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。